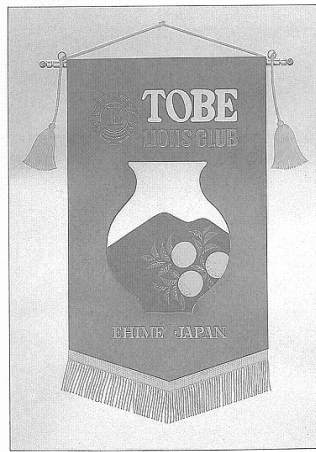




長与クラブとの懇親パーティー



1982年砥部L.C 認証状



あわてんぼうのサンタクロース



結成35周年記念式典

つよじさんのお楽しみ日記④5

「砥部L.C三十五周年」の巻

私の所属する砥部ライオンズクラブが三十五周年を迎えました。昭和五十七年二月の結成で発足時の会員は四十一名でした。三十五年も経つと最初からの会員(チャーターメンバー)は私を含めてわずか三名になり、物故者となられた方が二十三名います。

当時、私は三十八才になったばかりで入会をさせて頂いたものの何もかも目新しいことばかりで規則、規約もライオンズクラブ独自のもので何もわからないうちに三年目には幹事、平成六年には会長その後、地区委員も務めさせて頂きました。が優良会員には程遠いままで現在に至っています。

思い出に残る事業と言えれば結成二年目の昭和五十八年に国道三七九号線の砥部町千里地区に「陽光桜」を植樹したことです。

爾来、毎年暑い中、汗を流して下刈りと施肥を行い「花見」を楽しみ頑張ってきた。が土地が合わなかったのか「桜の名所」とはならず、現在何本かの生き残った木に花を見ることが出来ます。

結果は出ませんでした。皆んなで努力した事が心に残っています。

現在の大きな奉仕作業に二十六年間続いている「あわてんぼうのサンタクロース」があります。町内の幼稚園、保育所等の(約五五〇名)子供たちが使用済み切手を収集し、ライオンズサンタとのプレゼント交換会です。このことは毎年ニュースで取り上げられていますので皆さんご存知かも知れません。その他には、ライオンズ奉仕デーに「サマーボランティア」として「春は桜、秋は紅葉」の名所と知られる日本のため池百選の「通谷池」周辺の草刈り清掃を県、町や地域の企業にもご参加頂き行っています。

砥部ライオンズクラブはこれからも地域のため出来る奉仕をいつまでも続けていきたいと思えます。

